

小正月行事に参加した児童の感想より～抜粋～

1年生

- おだんごを竹にさしてわらでやきました。けむりがおおくて、火のちかくだったので目がいたかったです。じぶんでやいたおだんごがおいしかったです。ししの中におじいさんが入って曲に合わせてまいりました。まえはこわかったけれど、今年はこわくありませんでした。ひょっとこのうごきがおもしろかったです。
- どんどやきは、まるいもちを竹にさしました。もえている火でもちをやきました。まっくろにやいたもちを食べるとびょうきにならないそうです。やいたもちはおいしかったです。



2年生

- 一年生のときに来たときとちがって、今年はおだんごを竹ざおにさしてやくことができました。ひょっとこがお金をぬすむところを、ししまいに見られておこられるところがおもしろかったです。来年も小正月のぎょうじに行きたいです。
- おやなぎづくりをしました。はじめに色紙をおって下を切ります。そのあと長い竹にのりをつけてくるくるまいていきます。じゅんばんは、みどり、あか、きいろ、しろ、むらさきです。たいへんだったけど、友だちとちいきの人ときょうりよくしてきれいなおやなぎが作れてよかったです。



3年生

- 火がすごく高くまいあがって「バチン」という音が大きくてびっくりしました。少し字が上手になった気がします。みかんももらいました。まゆ玉をやいているとき、すごくあつかったです。
- 冬休みにたくさん練習した書きぞめをどんどやきでもやしてもらおうと、字がうまくなると言われているので、持っていきました。火が高く燃えていてきれいでした。やいただんごがおいしかったです。

4年生

- おちょうやの周りにはスギ。そのスギは地いきのうじ神様のすわ神社にスギがはえているので、そのスギを用いている。おちょうやの形が見えなくなるまでスギでおちょうやを囲う。

おやなぎのひとかたまりは12本。大紙(白い紙)は4つずつ計12こ。おやなぎは神様の目印。昔はおちょうやを組み立てるときはくぎではなく、縄でしばっていた。じっさいにおちょうや作りを手伝わせてもらったら、素手だったので手がしびれそうなほどいたかったけど、地いきのみなさんも一けん命「かみさま」という気持ちを持ちながら手をうごかしていたので、わたしも「神様来てください」という気持ちを持っておちょうやを作った。

- スギを使ってお帳屋を作ったり、おやなぎを竹に立てたりした。大人の人がたくさん集まって協力してスギの枝を切ったり、おやなぎを立てたりしてとても大変な作業だった。昔から地いきの人たちが守り続けてきているなんてすごいなと思った。行事のおかげで地いきのおじいさんやおばあさんと話すことができて楽しかった。



5年生

- はじめは神主さんが来てお祈りをして、その後ししまいが出てきました。とても大きく見えて力強く見えました。その次にどんど焼きをしました。まゆだまだんごを焼きました。あまりおいしくありませんでしたけど、焼くのが楽しかったです。また行きたいです。
- 炎がはく力があつた。まゆ玉が米の味がした。だるまがあつた。まゆ玉をたくさん焼いたのに、あまり温まっていなくてぬるかった。ししまいの動きがかっこよかった。どうしてもやすのか不思議に思った。きれいで来年も行きたくなった。



6年生

- コロナでまゆ玉作りができなかったけれど、どんど焼きは開催できてよかった。友達とみんなでまゆ玉をあぶって食べて楽しかった。

ししまいも見られて楽しかった。今年一年いい年になるように祈っておもちを食べた。

- 毎年参加している地域のどんど焼きに行きました。獅子舞の迫力はすごく感じました。私が一年間書いた書道の作品をもやし、今年もうまく書けるようお願いをしました。まゆ玉をもやし、黒こげになるまで火に近づけ、食べられなくなってしまいました。来年もまた参加できたらなと思います。